

対話結果の
概要を公表

木更津市公設地方卸売市場の経営展望策定に向けて 企業等の皆様との「対話」の結果概要を 公表します

木更津市では施設の老朽化や取扱量減少等の課題を解決するため、地方卸売市場の再整備を検討しており、再整備に向けた市場の経営展望を策定しています。再整備にあたっては民間活力の導入を期待しており、そのための前提条件などをお聞きする「対話」を実施しました。

公募の結果、建設事業者・食品関係事業者等の8事業者からご意見を伺いましたので、その結果概要をお知らせします。



1. 対話の経過

	内 容	日 程
1	対話実施についての公表	平成 30 年 9 月 10 日
2	対話の実施	平成 30 年 9 月 21 日～平成 30 年 10 月 11 日

2. 結果の概要

対話の対象項目	対話の概要
新たに導入すべき機能	<ul style="list-style-type: none">・ コールドチェーン等の温度管理、衛生管理機能が必要。・ 物流センター機能。
施設規模	<ul style="list-style-type: none">・ 市場と民間収益施設を一体化することにさらにスケールメリットが見込める。
整備手法	<ul style="list-style-type: none">・ PFI や DB 等の一括発注が望ましい・ PFI 等の一括発注では事務事業の簡素化と事業の運用の多様化を図ることができるが、事業期間が長くなる。・ PFI 事業の場合、ある程度の事業規模が必要である
事業範囲	<ul style="list-style-type: none">・ 市場本体施設と民間提案施設を一体的に整備した方がよい。
導入可能な民間提案施設	<ul style="list-style-type: none">・ 実績のあるテナント。・ 市場の食品を生かした飲食店・加工品物販店・お土産屋と物流施設。・ 福利厚生施設（飲食店等、来場者にも開放）。・ 今後、進出を希望する事業者と連携して検討したい。・ 加工処理、物流事業者等の誘致が必要。
行政に求める支援等	<ul style="list-style-type: none">・ 割安感のある借地料等。・ 交通アクセスの向上と周辺の商業・観光施設との連携（橋や循環バス）。・ 6次産業化に対する支援。
事業参入の意欲	<ul style="list-style-type: none">・ 事業性が確保できれば前向きに検討したい。 (進出企業の意向調査が必要)。・ 業者選定時は単なる価格評価ではなく、事業性を評価してもらいたい。・ 加工処理事業者としては面積的に手狭である。
その他	<ul style="list-style-type: none">・ ニーズの変化に対応可能な施設整備が必要。・ 卸売市場法改正による動向に留意が必要。

(お問い合わせ)

木更津市経済部地方卸売市場

電話 0438-23-3621